



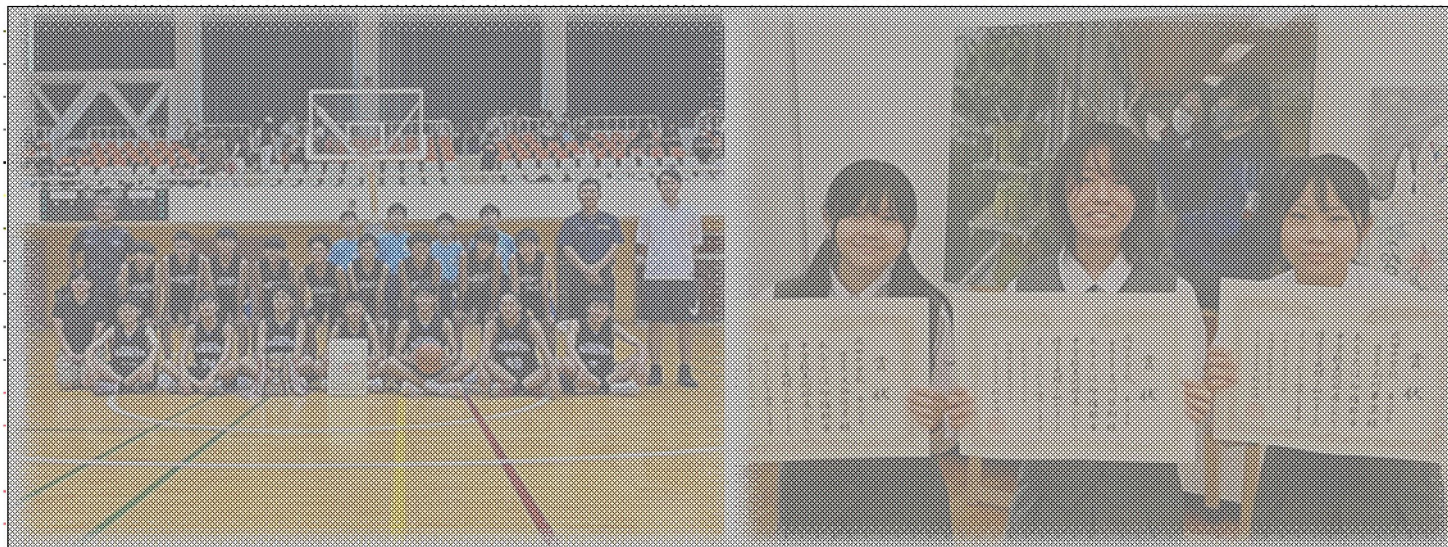
成田中だより

令和5年9月13日
成田市立成田中学校
TEL 0476-22-0304
生徒数 503名
文責 濱谷 昌人

＜令和5年度学校教育目標＞『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

輝いた夏 ～最後の総体・コンクール・作品展を終えて（第一部）～



◎男子バスケ部、郡総体で圧倒的強さで見事に優勝！ ◎印旛郡市美術部作品展で最優秀賞・優秀賞の3人！

部活動やクラブチームを頑張ってきた3年生の皆さん、最後の大会、コンクール、そして、作品展、よく頑張りましたね。お疲れ様でした。印旛郡市美術部作品展で『最優秀賞』に輝き、千葉県代表として、3月に開催される全国大会に出品されることになった美術部の Y.H.3年)さん、県総体陸上競技女子走り幅跳びで見事なビッグジャンプで3位入賞という立派な成績を収めた陸上競技部の K.M.さん(3年)、郡総体を圧倒的な攻撃力で制覇し県総体ベスト8入賞の男子バスケットボール部の皆さん、そして、千葉県吹奏楽コンクールで2年連続の「優秀賞」に輝いた吹奏楽部の皆さん、本当におめでとうございました。また、本校に体操部はありませんが、印西市の体操クラブで日々練習に励む K.G.さん(2年)が成田中所属で出場した関東大会で個人総合4位入賞、徳島県で開催された全国大会では種目別あん馬で見事に全国4位入賞という快挙を成し遂げました。来年は、ぜひ中学生チャンピオンを目指してほしいです。

それぞれの部活動やクラブチームで最後まで頑張った皆さんを、私は大変誇らしく思っています。そして、終わり方はそれぞれだったとは思いますが、全ての3年生の皆さんに、「お疲れ様！本当によく頑張った！」という気持ちでいっぱいです。2学期に入り、気持ちは既に切り替えられていることとは思いますが、皆さんが熱く燃えた令和5年の夏の余韻が、私の胸には確かに残っています。中学校時代の全てを部活動やクラブチームに懸けてきたという人もいることでしょう。今年も何とか全ての会場を回り、選手として、そして、最高のサポートメンバーとして輝いている3年生を応援することができて良かったです。どうか、頑張った自分自身に胸を張って、同じ目標に向かって共に苦しい練習を乗り越えてきた最高の仲間達に誇りを持って、これから、また新たな一步を踏み出して行ってください。そして、応援し続けてくれた家族への感謝の気持ちを、これからも大切にしていってください。間違いなく輝いていた令和5年の夏は、皆さんの一生の宝物になるに違いありません。

各部の顧問の先生方が、最後の総体、コンクール、作品展を終えた3年生の皆さんに心のこもったコメントを綴ってくださいました。題して『輝いた夏』！四部に分けて掲載する予定です。どうか、3年生の皆さんは、顧問の先生方の熱く、そして、温かい想いを受け止め、これからの人生の励みにしていってください。

【男子バスケットボール部】「本気で取り組んできたからこそその涙！」

郡総体：優勝！ 県総体：ベスト8！



<K先生より>

個性溢れるチームを預かって1年強でしたが、素晴らしい時間を過ごすことができみんなにはとても感謝しています。郡新人戦優勝、県新人第3位、桜井杯準優勝、相川杯第3位、郡総体優勝、県総体ベスト8、不甲斐ないと思う成績もあったかも知れませんが、当たり前ではないチーム状況で、立派な成績を収めたと思います。ここまで、チームに対して個人に対しても厳しく当たるのがたくさんあったと思います。いろいろな壁にも当たってきたと思います。そういったことを乗り越えて、チームとしては大きく成長してきたと思っています。

部活動を取り巻く環境が変わりつつある中で、与えられた環境で精一杯取り組んできました。チームが分解しかけたときもありました…。それでも前を向いて取り組んでいった仲間がいたお陰でチームは成長していきました。

県優勝を目指して関東全国を視野に入れて挑んだ最後の総体。準々決勝で成田中50-53海神中という結果になり、道半ばで夏を終えてしまったことにとても責任を感じています。涙を流して泣き崩れるみんなの姿を見て、申し訳なさでいっぱいでした。もっと上にいけるチームを勝たせることができず、自分の力不足、指導不足を痛感します。ただ、あの涙は、そこまで本気で取り組んできたからこそその涙だと思います。悔し涙を流した人、負けた人の方が強くなります。忘れなければ、本当に強くなるチームや人は、悔しさを忘れずに持続できます。

次のステージでもこの悔しさを忘れずに成長してほしいと思います。「勝って奢らず、負けて腐らず」の精神で高みを目指す。いつも話しますが、心の山と技術の山を登る。この山は個人で登る。この2つの山を越えると日本一（千葉県一）の山が見えてきます。それはみんなで協力して登る山です。まだまだ道半ばなので、次のステージでも、心の山と技術の山を登って自分たちの目標の山を登ってほしいと思います。

夢を現実にできなかった悔しさはありますが、夢を見れる、掴めるようなチームに巡り会えて、成田中学校のバスケット部に携わることができて本当に幸せでした。夢に向かってがんばれ！次のステージでは、夢を現実に！！ありがとう☆



最後に、男女とも一番のサポーターであるご家族の皆さんに、しっかりと感謝の気持ちを伝えてください。

<M先生より>



まずはみなさんに感謝を伝えたいと思います。3年間ありがとうございました！部活動を3年間やりきるといのは決して簡単なことではありません。信頼できる仲間がいるからこそ辛い練習にも耐えることができたのだと思います。部活動で求められるのは技術だけではありません。“心（精神）”を養っていく大切な場だと思います。時には意見が合わずにぶつかることもあったかと思いますが、自分たちで考え行動し成長していく姿がかっこよかったです。これほど良いチームには今後巡り会えないかもしれません。これから別々の道を進んでいくと思います。しかし、バスケットボールで過ごした時間

・仲間は無駄ではありません。みなさんにとって宝物になると思います。辛いときには是非思い出してください。改めて、男子バスケットボール部に関わることができて幸せでした！ありがとう！

【女子バスケットボール部】「3年生3人で引っ張る姿が後輩達へ！」

<K先生より>

人数の少ない中、よくここまでがんばってきました。嫌気がさしたり、辞めたいと思ったりしたときもあったでしょう。それでも辛抱強くやり抜いたことは絶対に意味があります。

県大会出場を目標に取り組んできましたが、目標を達成させることができず、力不足、指導不足を痛感しています。今年のチームは、能力が高いとは決して言えません。能力の低いチームが能力の高いチームに勝つにはどうしたらよいか、これが課題でした。

活動時間が削られたりする中で、量より質とも言われますが、土台がない場合は、圧倒的に質より量だと思っています。ただがんばるだけでなく、具体的にがんばる。そして、がんばるより少しがんばることを続けることが努力に繋がるとしています。中学生なので、勝ち負けにこだわらないやり方もあるかも知れませんが、負けて悔しいとか勝って嬉しいという感情は絶対に人を成長させると思います。それを、少しでも感じてもらうことができれば嬉しいです。



郡ではベスト16、ブロックでは準優勝が最高でした。負ける悔しさしか残っていないかも知れませんが、

この悔しさを原動力にして次へ！

3年生3人という少ない人数でここまで後輩たちを引っ張ってってくれました。本当に感謝です。3人の姿を見て、後輩たちはこれから次の目標に向けて動き出していくことでしょう。バスケットを続けても続けなくても、その都度、大事なことを話してきたつもりです。何か一つでもこんなこと言ってたなあと思えることがあれば、嬉しい限りです。次のステージでの活躍を応援しています！



<U先生より>

人数が少なく大変なことも多かったと思いますが、3年生が率先して声を出して練習に取り組み、アドバイスしてあげる姿が学年を重ねるにつれて、総体が近づくにつれて多くなり、3年生の存在の大きさを実感していました。プレーの面でも、ほかのすごく大事な場面でも支えられた1、2年生がいたと思います。TOはミスが少なく丁寧でほかの学校の先生方にもほめてもらいましたね！

うまくいなくて苦しい時期や、チームがなかなかまとまらず悩んだ時期もあったと思いますが協力しながら乗り越えてきました。この3年間でみんなが得たものはこれからに必ず生きていきます。どんな状況であっても自分自身がどう受け止めて、どう行動していくかで自分の力になります！自信をもって次のステージでも頑張ってください！3年間みんなと一緒に活動できて、たくさんの感動や楽しい時間を過ごせて嬉しかったです。本当にありがとうございました！



【女子バレーボール部】「懸命に拾い打つ、一球懸命そのもののチーム！」



17名の3年生のみなさん、最後までやり切った夏となりました。

4月に初めて出会った時のことを今でも鮮明に覚えています。

元気で明るく、いつも笑顔で、ハキハキとした挨拶ができ、どんな時でも礼儀正しく、そしてバレーが上手なみなさんでした。

総体では順調に勝利を重ね、2日目に進出。2日目はフルセットまでもつれ込む試合でした。試合に出ているメンバーも、応援するメンバーも大きな声を出し、ボールに向かっていました。ボールを懸命に拾い、打つ姿は部活動シャツに書いてある「一球懸命」そのものでした。3日目進出は叶いませんでしたが、みなさんの心にはたくさんの思い出が残ったはずです。

総体に向けていろいろなことがありましたね。何度も何度もミーティングを行い、自分たちで練習を考えて実践してきました。5月からは外部コーチとしてM先生が指導に携わってくれました。厳しい練習に耐えながら日に日に成長していく皆さんは頼もしく、とても輝いていました。



たとうまくいかないことがあったとしても、それは自分にとって価値のあるものなのです。うまくいった時の自分も、うまくいかなかった時の自分も全部含めて、自分を好きになってください。感動をありがとう。